

「繋がる想い」

匿名希望

「家族構成は？」という質問に答えるとき、私はいつも違和感を感じます。私たち夫婦には、結婚8年目で授かった現在4才の息子がいる。また、結婚後すぐに授かり、わずか2ヶ月で天国へ逝ったお腹の赤ちゃんが、いた。

産んであげられなかったと、当時は自分を責め、数ヶ月間、家に引きこもったこともあった。周囲の人たちは私を元気付けようと声をかけてくれたが、ただ毎日が無気力に過ごしていた。

どん底とも思える辛さと悲しみを分かち合ってくれた夫には、感謝してもしきれない。その後、数年を経て宿ってくれた命。今まさに目の前で笑顔を見せてくれる息子にも、日々感謝の気持ちで一杯だ。

命が宿る奇跡、そしてこの世に誕生する奇跡。お腹に宿った2つの命は、とても愛しく、私の生きる希望そのものだ。

産んであげることのできなかった赤ちゃんは、紛れもなく私たちの第一子であり、4才の息子の「きょうだい」なのだ。そしてまた、私自身も、あの小さな命がお腹に宿った瞬間から、「母親」になっていた。

「いつも一緒に居るよ、」と毎朝声をかけながら、目には見えなくても、想いは繋がっていると信じている。家族の在り方は、様々。我が家は、「四人家族」なのだ。